

第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）

「都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲（以下、「調査区域」）」とは、事業実施区域から概ね片側約 3km（環境項目の中で、地域特性の把握範囲が最も広い景観項目の範囲「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）（平成 25 年 3 月、国土交通省国土技術政策総合研究所）」を参考に設定）を含む図 4-1 の範囲とし、自然的状況及び社会的状況を把握する範囲とした。

なお、市町村単位で公表されている統計資料等を出典とする地域特性については、愛知県知多市、常滑市、阿久比町、東海市、大府市、東浦町、半田市、高浜市、刈谷市、知立市、碧南市、安城市（以下、「調査対象市町」という。）の全域を範囲として把握した。

次節以降に自然的状況及び社会的状況の概況を示す。

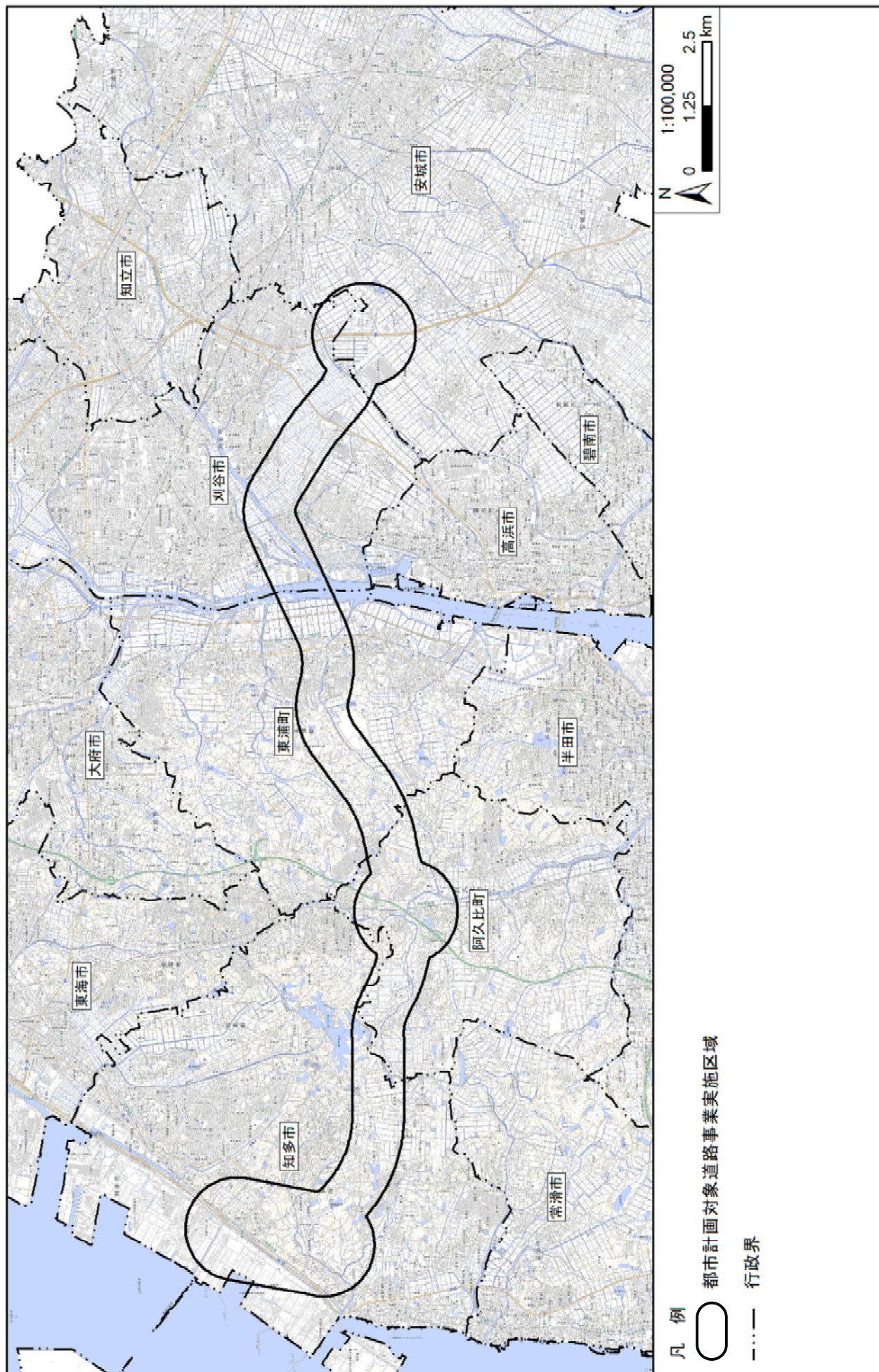


図 4-1 調査区域の周辺

4.1 自然的状況

4.1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

(1) 気象の状況

1) 気象特性

調査区域は知多半島の北西部から岡崎平野に位置し、気候は東海型気候区に属し、比較的温暖で、台風の影響などで夏に雨量が多い地域である。

2) 気象概要

調査区域周辺の気象観測所は、大府市森岡町に位置する大府地域気象観測所である。大府地域気象観測所の所在地及び観測項目を表 4.1-1、位置を図 4.1-1 に示す。

表 4.1-1 気象観測所の所在地及び観測項目

観測所名	所在地	緯度・経度	標高 (m)	風速計 の高さ (m)	観測項目※1				
					気温	降水量	風向・ 風速	日照 時間	積雪
大府	大府市森岡町	北緯 34° 59.7' 東経 136° 56.6'	32	9.9	○	○	○	○	—

備考) ※1. ○：観測項目有り —：観測項目無し

出典：「地域気象観測所一覧」(気象庁 HP、令和 7 年 5 月閲覧)

大府地域気象観測所の令和 6 年の月ごとの気象及び平成 27 年～令和 6 年の過去 10 年間の気象概況を表 4.1-2(1)～(2)に示す。

平成 27 年～令和 6 年の 10 年間の平均値は、年間降水量が 1,549.5mm、平均気温が 16.9℃、平均風速が 2.3m/s、年間日照時間が 2,268.7 時間となっている。

令和 6 年の気象状況をみると、年間降水量は 1,655.5mm であり、平成 27 年～令和 6 年の平均値より 106.0mm 多くなっている。平均気温は 17.7℃であり、平均値より 0.8℃高くなっている。平均風速は 2.2m/s であり、平均値より 0.1m/s 低くなっている。年間日照時間は 2,270.9 時間であり、平均値より 2.2 時間多くなっている。

表 4.1-2(1) 令和 6 年 地上気象観測結果（大府地域気象観測所）

月	降水量(mm)		平均気温(℃)			風向・風速(m/s)			日照時間(h)
	合計	日最大	日平均	日最高	日最低	平均風速	最大風速		
							風速	風向	
1月	28.5	11.0	6.1	10.5	1.6	2.4	8.5	北北西	186.9
2月	133.5	43.5	8.1	12.5	4.3	2.5	8.3	西北西	155.0
3月	196.5	58.0	8.9	13.5	4.4	2.8	9.8	南南東	209.8
4月	156.0	58.5	17.1	22.0	12.8	2.3	8.5	北北西	169.0
5月	201.0	45.0	19.4	24.4	14.5	2.5	10.9	南南東	210.8
6月	244.5	77.5	23.4	28.2	19.4	2.0	6.3	南南東	185.8
7月	113.0	25.0	29.2	34.2	25.3	1.9	7.0	西北西	215.5
8月	257.5	80.0	29.8	35.0	25.9	2.2	7.6	南南東	254.4
9月	95.5	30.0	27.7	32.6	24.0	1.8	8.1	西南西	204.3
10月	141.5	29.5	21.3	25.9	17.6	1.7	8.2	南南東	131.8
11月	88.0	39.5	14.5	19.1	10.4	2.0	7.3	西南西	158.0 ^{※1}
12月	0.0	0.0	7.0	11.8	2.3	2.1	9.3	西北西	189.6
年最大	257.5	80	29.8	35.0	25.9	2.8	10.9	—	254.4
発生月	8月	8月	8月	8月	8月	3月	5月	—	8月
年最小	0.0	0.0	6.1	10.5	1.6	1.7	6.3	—	131.8
発生月	12月	12月	1月	1月	1月	10月	6月	—	10月

備考)

※1 統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱う（準正常値）。

出典：「気象観測データ 大府地域気象観測所」(気象庁 HP、令和 7 年 5 月閲覧)

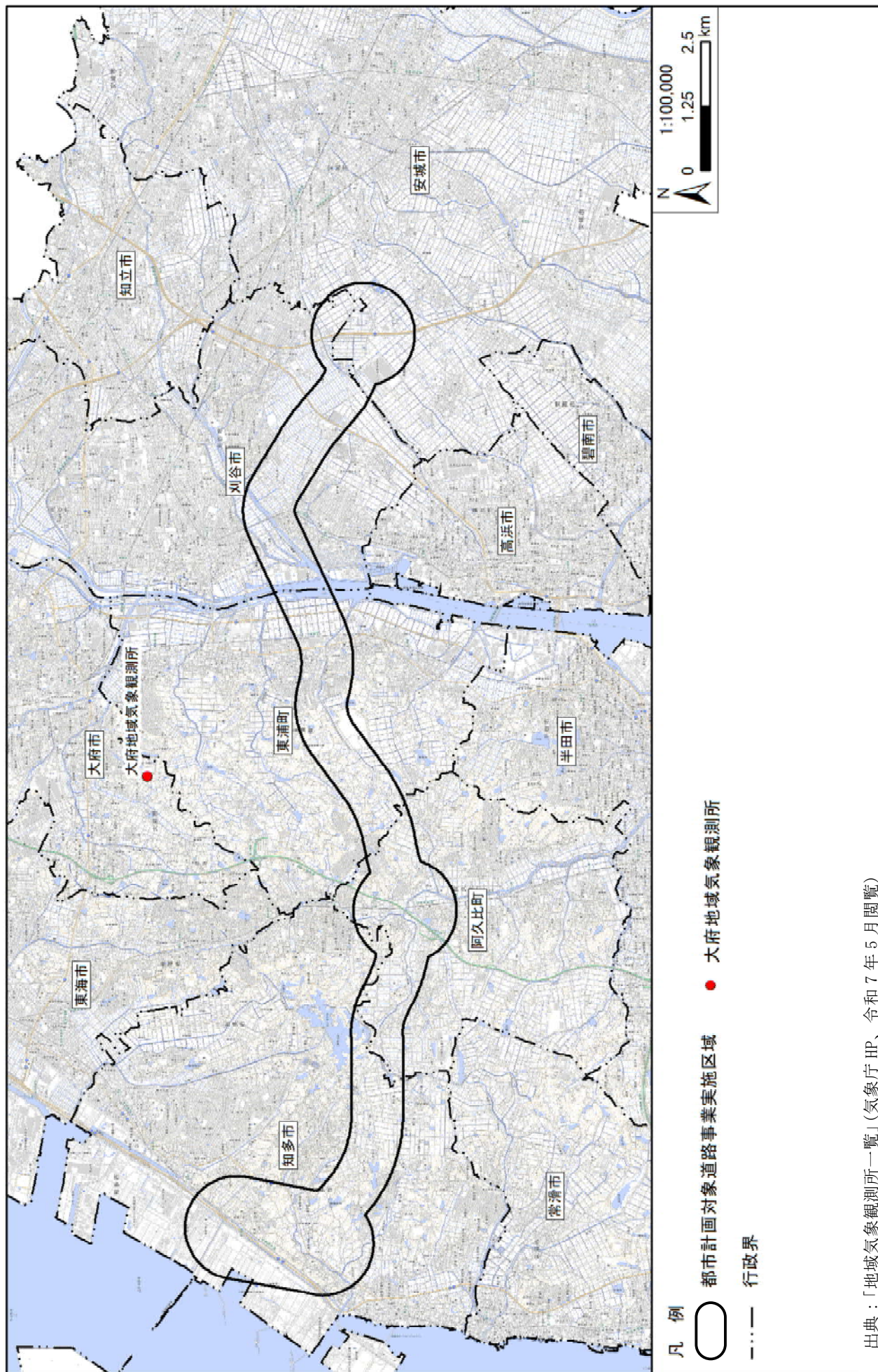
表 4.1-2(2) 平成 27 年～令和 6 年 地上気象観測結果（大府地域気象観測所）

年	降水量(mm)		平均気温(℃)			風向・風速(m/s)			日照時間(h)
	合計	日最大	日平均	日最高	日最低	平均風速	最大風速		
							風速	風向	
2015 年	1,647.5	72.0	16.6	21.1	12.6	2.4	11.8	南東	2,139.9
2016 年	1,486.5	67.5	17.0	21.6	12.8	2.4	11.5	南東	2,203.2
2017 年	1,510.0	163.0	16.0	20.6	11.8	2.4	14.4	南南東	2,283.5
2018 年	1,490.5	70.0	16.9	21.7	12.6	2.4	18.0	南南東	2,357.2
2019 年	1,590.5	124.5	17.0	21.7	12.9	2.4	11.6	南南東	2,225.4
2020 年	1,453.0	66.0	17.1	21.8	13.0	2.3	10.5	北北西	2,276.8
2021 年	1,706.0	97.0	16.9	21.7	12.7	2.3	12.1	南南東	1,783.4]※1
2022 年	1,600.5	181.0	16.8	21.6	12.6	2.3	10.7	南東	2,240.3
2023 年	1,355.0	151.5	17.3	22.4	12.8	2.2	10.0	南南東	2,420.8
2024 年	1,655.5	80.0	17.7	22.5	13.5	2.2	10.9	南南東	2,270.9
平均値	1,549.5	107.3	16.9	21.7	12.7	2.3	12.2	—	2,268.7

備考)

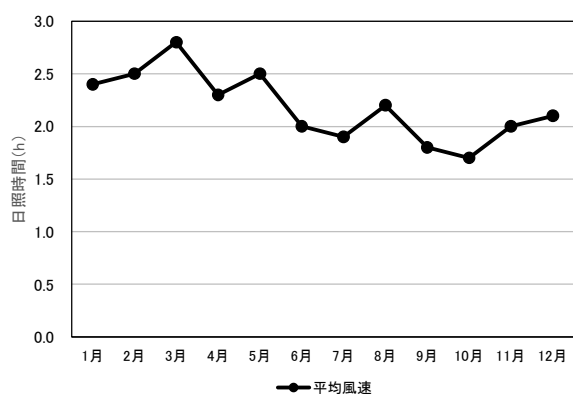
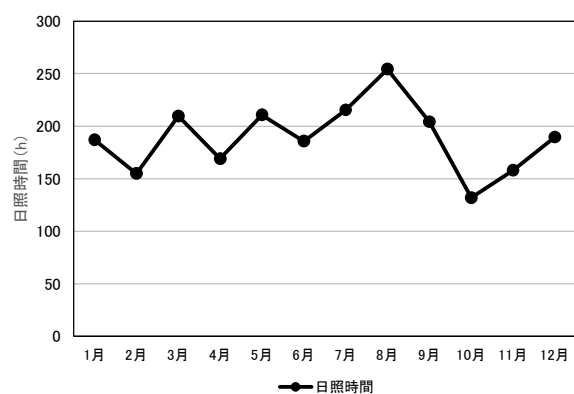
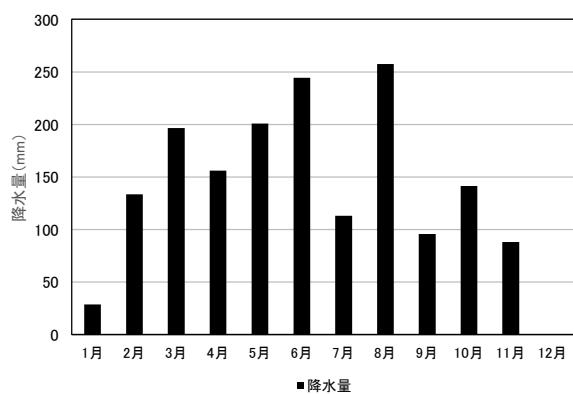
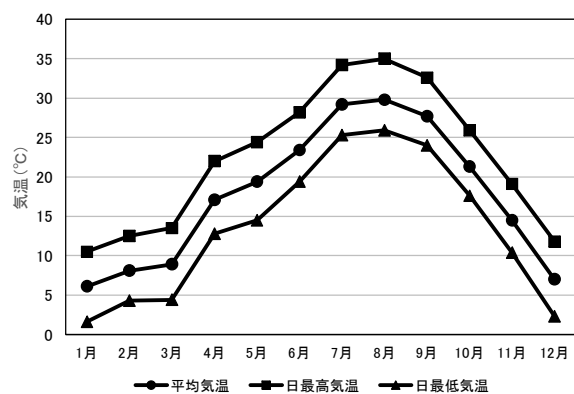
※1 資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている。値そのものを信用することはできないが、その値以上であることが確実である。）を示す。

出典：「気象観測データ 大府地域気象観測所」(気象庁 HP、令和 7 年 5 月閲覧)



出典：「地域気象観測所一覧」(気象庁HP、令和7年5月閲覧)

図 4.1-1 気象観測所位置図



出典：「気象観測データ 大府地域気象観測所」(気象庁 HP、令和7年5月閲覧)

図 4.1-2 大府地域気象観測所における気象概況(令和6年)

(2) 大気質の状況

愛知県では、「大気汚染防止法（昭和 43 年 6 月 10 日法律第 97 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号）」に基づき、県や市によって大気汚染の常時監視が行われている。

調査区域には、大気汚染常時監視測定局のうち、一般環境大気測定局（以下、「一般局」という。）の新舞子保育園、阿久比中学校、横須賀小学校、大府小学校、東浦町役場、高浜小学校、刈谷市寿町、知立市役所、安城農林高校の 9 局が存在する。

自動車排出ガス測定局は、調査区域には存在しない。

有害大気汚染物質の調査地点は、調査区域には存在しない。

ダイオキシン類の大気の測定地点は、調査区域には、知多市新田小学校、阿久比町役場、東海市消防本部、大府市役所、東浦町役場、刈谷市寿町、安城農林高校の 7 局が存在する。

1) 大気汚染物質の状況

調査区域における大気汚染常時監視測定局の令和 5 年度の測定項目を表 4.1-3 に、測定局の位置図を図 4.1-3 に示す。

表 4.1-3 大気汚染常時監視測定局の測定項目（令和 5 年度）

区分	測定局	設置場所	用途地域 ※1	測定項目※2					
				二酸化硫黄	二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	非メタン炭化水素
一般局	新舞子保育園	知多市大草	未	—	○	○	○	—	○
	阿久比中学校	阿久比町大字卯坂	住	—	○	○	○	—	—
	横須賀小学校	東海市高横須賀町	住	○	○	○	○	○	—
	大府小学校	大府市桃山町	住	○	○	○	○	○	○
	東浦町役場	東浦町大字緒川	住	—	○	○	○	—	—
	高浜小学校	高浜市青木町	工	—	○	○	○	○	—
	刈谷市寿町	刈谷市寿町	商	—	○	○	○	○	—
	知立市役所	知立市広見	住	—	○	○	○	—	—
	安城農林高校	安城市池浦町	未	○	○	○	○	○	○

備考)

※1. 用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

※2. ○：測定した項目 —：測定していない項目

出典：「2023 年度 大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）

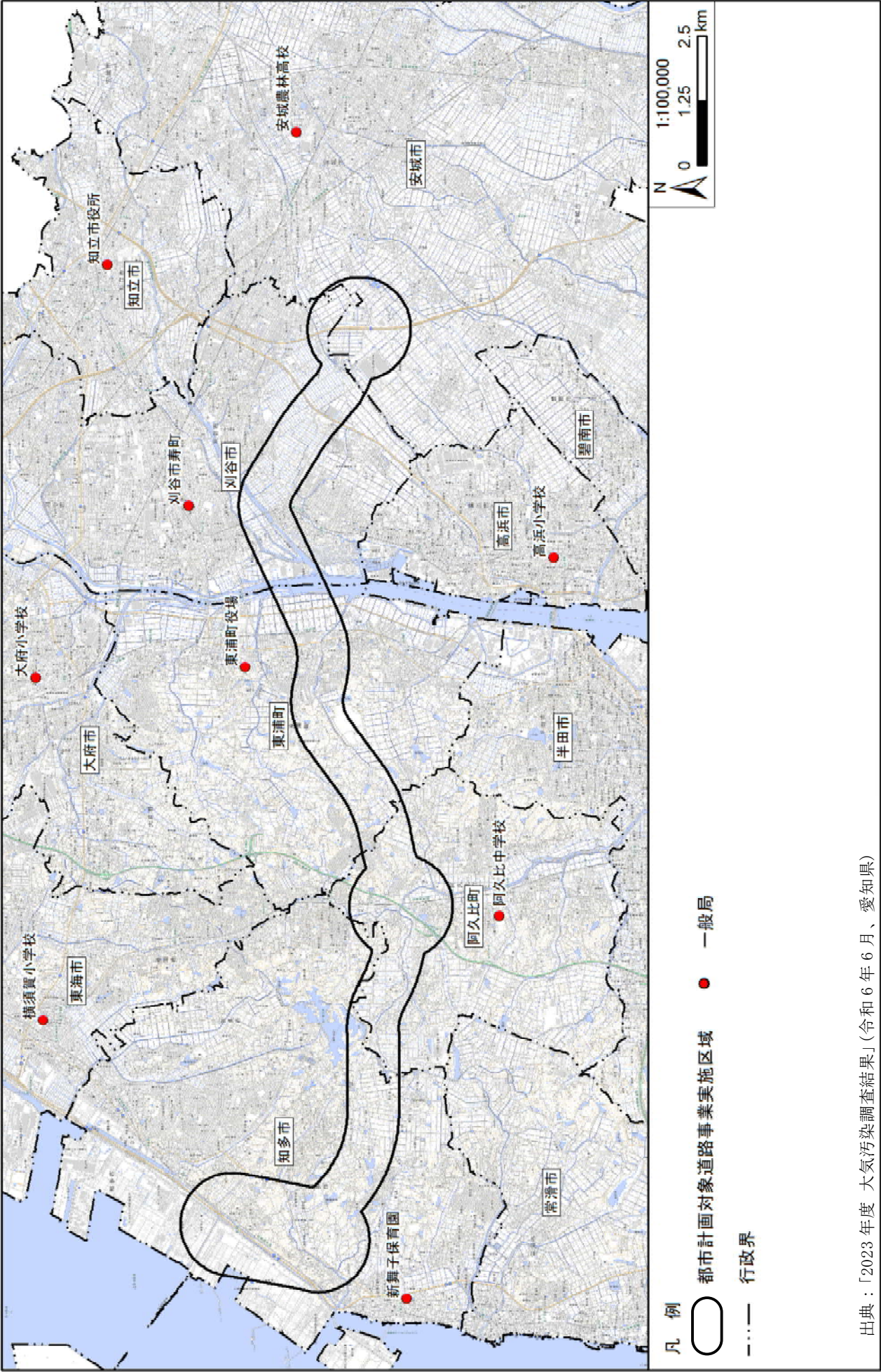


図 4.1-3 大気汚染常時監視測定局位置図

(a) 二酸化硫黄

二酸化硫黄は一般局である横須賀小学校、大府小学校及び安城農林高校の3局において測定されている。

令和5年度の測定局及び測定結果は表4.1-4に示すとおり、長期的評価、短期的評価ともに環境基準に適合している。また、二酸化硫黄の年平均値の経年変化は表4.1-5、図4.1-4に示すとおり、過去5年(令和元年度～令和5年度)は横ばいで推移している。

表 4.1-4 二酸化硫黄の測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数	環境基準の適否	
			(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(有×・無○)	(日)	短期的評価	長期的評価
一般局	横須賀小学校	住	365	8,692	0.002	0	0.0	0	0.0	0.005	○	0	○	○
	大府小学校	住	366	8,692	0.001	0	0.0	0	0.0	0.002	○	0	○	○
	安城農林高校	未	366	8,691	0.001	0	0.0	0	0.0	0.002	○	0	○	○

備考)

※1. 用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

表 4.1-5 二酸化硫黄の経年変化（日平均値の2%除外値）

単位：ppm

区分	測定局名	年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	横須賀小学校	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005
	大府小学校	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
	安城農林高校	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

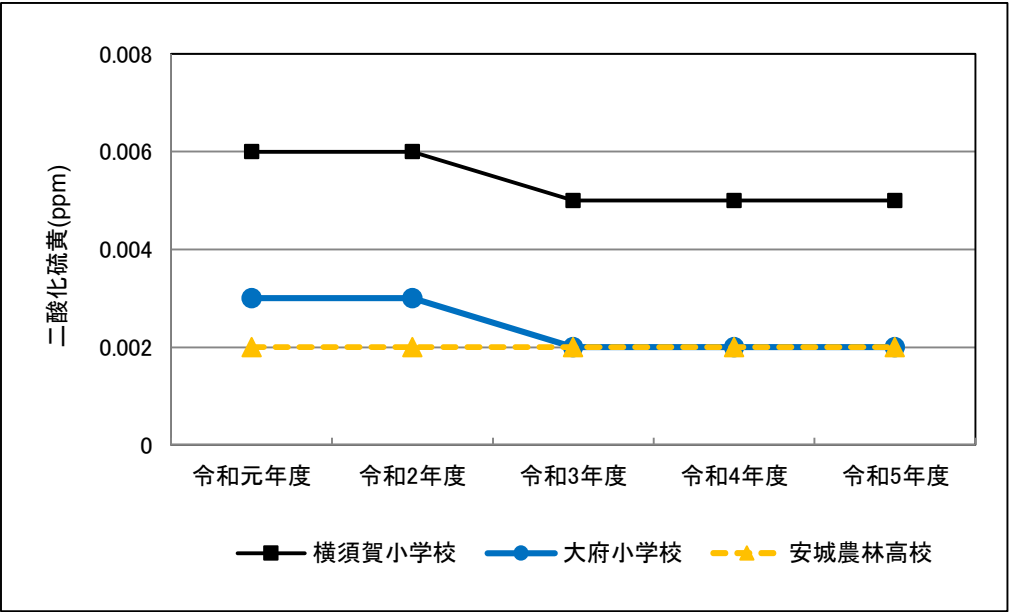
出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

「2021年度大気汚染調査結果」(令和4年6月、愛知県)

「2020年度大気汚染調査結果」(令和3年6月、愛知県)

「2019年度大気汚染調査結果」(令和2年6月、愛知県)



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-4 二酸化硫黄の経年変化（日平均値の 2%除外値）

《参考：大気汚染に係る環境基準について（二酸化硫黄）》

環境基準	長期的評価	1 日平均値の 2%除外値が 0.04ppm 以下であること。ただし、1 日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続しないこと。
	短期的評価	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
評価方法	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。	

出典：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 5 月 16 日 環境庁告示第 35 号）
「大気汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 6 月 12 日 環境庁大気保全局長通知）

(b) 二酸化窒素

二酸化窒素は一般局である新舞子保育園等の9局において測定されている。

令和5年度の測定結果は表4.1-6に示すとおり、環境基準に適合している。

二酸化窒素の年平均値の経年変化は表4.1-7、図4.1-5に示すとおり、過去5年（令和元年度～令和5年度）は減少傾向である。

表 4.1-6 二酸化窒素の測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	有効測定 日数	測定 時間	年平均値	1時間値 の最高値	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 とその割合		日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数と その割合		日平均値 の年間 98%値	環境基準の 適否
			(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(適○・否×)
一般局	新舞子保育園	未	363	8498	0.009	0.073	0.0	0	0.0	0	0.022	○
	阿久比中学校	住	364	8678	0.009	0.043	0.0	0	0.0	0	0.025	○
	横須賀小学校	住	363	8664	0.014	0.061	0.0	0	0.0	0	0.028	○
	大府小学校	住	366	8695	0.010	0.049	0.0	0	0.0	0	0.024	○
	東浦町役場	住	366	8702	0.009	0.045	0.0	0	0.0	0	0.022	○
	高浜小学校	工	366	8697	0.011	0.053	0.0	0	0.0	0	0.027	○
	刈谷市寿町	商	366	8695	0.010	0.053	0.0	0	0.0	0	0.027	○
	知立市役所	住	364	8686	0.010	0.050	0.0	0	0.0	0	0.024	○
	安城農林高校	未	365	8694	0.008	0.043	0.0	0	0.0	0	0.021	○

備考)

※1.用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

表 4.1-7 二酸化窒素の経年変化（日平均値の年間98%値）

単位：ppm

区分	測定局名	年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	新舞子保育園	0.026	0.025	0.022	0.022	0.022
	阿久比中学校	0.029	0.026	0.024	0.024	0.025
	横須賀小学校	0.032	0.031	0.029	0.028	0.028
	大府小学校	0.031	0.027	0.024	0.025	0.024
	東浦町役場	0.028	0.025	0.022	0.022	0.022
	高浜小学校	0.033	0.030	0.027	0.026	0.027
	刈谷市寿町	0.030	0.026	0.024	0.026	0.027
	知立市役所	0.030	0.027	0.024	0.023	0.024
	安城農林高校	0.027	0.024	0.022	0.023	0.021

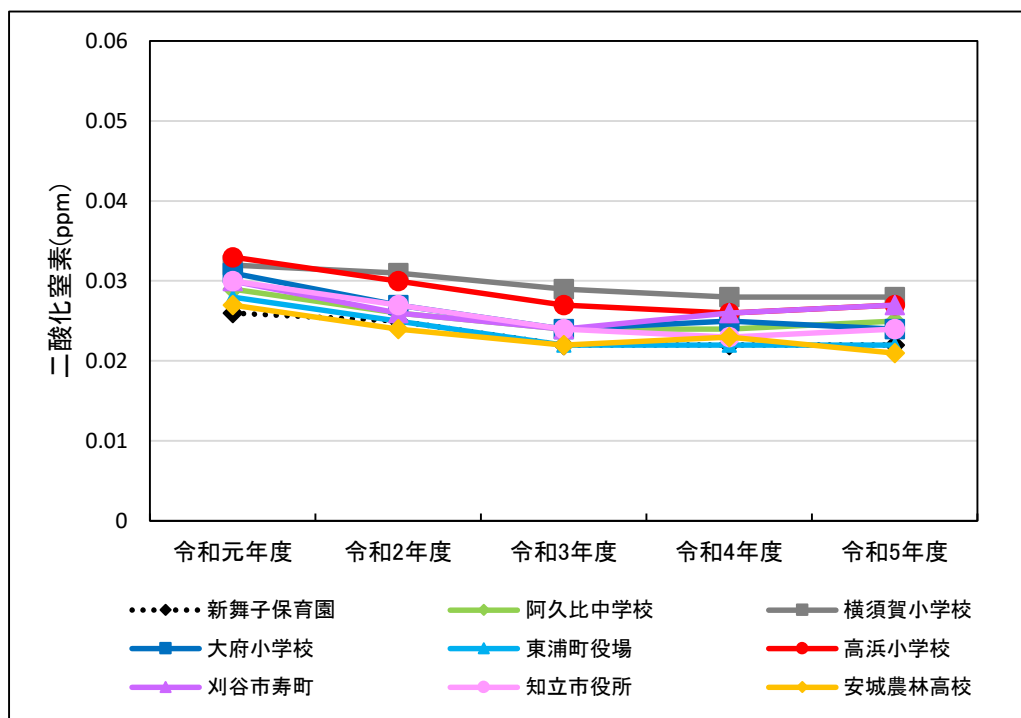
出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-5 二酸化窒素の経年変化（日平均値の年間 98%値）

《参考：大気汚染に係る環境基準について（二酸化窒素）》

環境基準	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm のゾーン内又はそれ以下であること。
評価方法	年間における 1 日平均値のうち、低い方から 98%に相当するものが 0.06ppm 以下であること。

出典：「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和 53 年 7 月 11 日 環境庁告示第 38 号）
「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」（昭和 53 年 7 月 17 日 環境庁通知第 262 号）

(c) 光化学オキシダントの状況

光化学オキシダントは一般局である新舞子保育園等の9局において測定されている。

令和5年度の測定結果は表4.1-8に示すとおり、環境基準に適合していない。

光化学オキシダントの昼間の1時間値の最高値の経年変化は表4.1-9、図4.1-6に示すとおり、過去5年（令和元年度～令和5年度）では令和2年度に減少し、その後やや増加傾向に推移している。

表 4.1-8 光化学オキシダントの測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	有効測定日数	昼間の測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	環境基準の適否
			(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(ppm)	(適○・否×)
一般局	新舞子保育園	未	366	5,458	0.033	74	300	0	0	0.115	×
	阿久比中学校	住	366	5,424	0.031	67	266	0	0	0.102	×
	横須賀小学校	住	366	5,457	0.027	55	191	0	0	0.104	×
	大府小学校	住	366	5,455	0.033	76	340	0	0	0.111	×
	東浦町役場	住	366	5,449	0.030	54	194	0	0	0.101	×
	高浜小学校	工	366	5,437	0.034	69	305	0	0	0.103	×
	刈谷市寿町	商	366	5,437	0.035	91	436	0	0	0.118	×
	知立市役所	住	366	5,427	0.034	84	399	1	1	0.120	×
	安城農林高校	未	366	5,430	0.035	98	544	1	2	0.128	×

備考)

※1. 用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

表 4.1-9 光化学オキシダントの経年変化（昼間の1時間値の最高値）

単位：ppm

区分	測定局名	年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	新舞子保育園	0.123	0.097	0.107	0.109	0.115
	阿久比中学校	0.115	0.084	0.098	0.101	0.102
	横須賀小学校	0.117	0.093	0.100	0.100	0.104
	大府小学校	0.140	0.095	0.101	0.110	0.111
	東浦町役場	0.125	0.083	0.089	0.093	0.101
	高浜小学校	0.120	0.083	0.093	0.092	0.103
	刈谷市寿町	0.137	0.085	0.098	0.108	0.118
	知立市役所	0.133	0.096	0.102	0.098	0.120
	安城農林高校	0.137	0.097	0.098	0.097	0.128

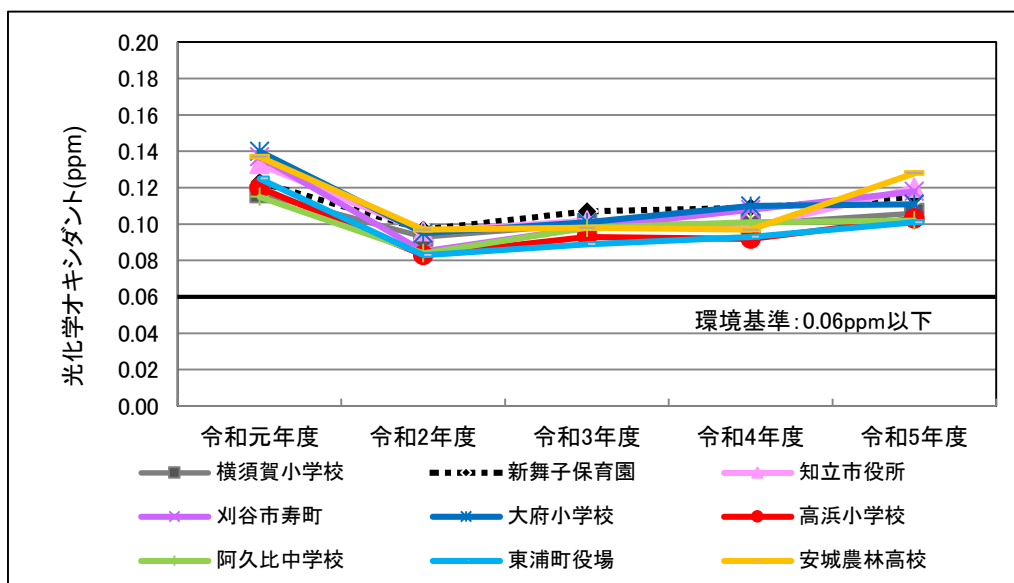
出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-6 光化学オキシダントの経年変化（昼間の 1 時間値の最高値）

《参考：大気汚染に係る環境基準について（光化学オキシダント）》

環境基準	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。
評価方法	昼間（5 時から 20 時まで）の 1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

出典：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 5 月 16 日 環境庁告示第 35 号）
「大気汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 6 月 12 日 環境庁大気保全局長通知）

(d) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質は一般局である新舞子保育園等の9局において測定されている。

令和5年度の測定結果は表4.1-10に示すとおり、全ての測定局で環境基準に適合している。

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化は表4.1-11、図4.1-7に示すとおり、過去5年（令和元年度～令和5年度）では令和2年度にわずかに減少し、令和2年度以降は横ばいで推移している。

表 4.1-10 浮遊粒子状物質の測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		1時間値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の適否	
			(日)	(時間)	(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(有×・無○)	短期的評価	長期的評価
一般局	新舞子保育園	未	363	8,705	0.013	0	0.0	0	0.0	0.028	○	○	○
	阿久比中学校	住	361	8,688	0.014	0	0.0	0	0.0	0.030	○	○	○
	横須賀小学校	住	363	8,714	0.017	0	0.0	0	0.0	0.036	○	○	○
	大府小学校	住	363	8,709	0.013	0	0.0	0	0.0	0.029	○	○	○
	東浦町役場	住	363	8,710	0.015	0	0.0	0	0.0	0.034	○	○	○
	高浜小学校	工	363	8,715	0.015	0	0.0	0	0.0	0.034	○	○	○
	刈谷市寿町	商	363	8,713	0.012	0	0.0	0	0.0	0.030	○	○	○
	知立市役所	住	362	8,703	0.012	0	0.0	0	0.0	0.027	○	○	○
	安城農林高校	未	363	8,709	0.013	0	0.0	0	0.0	0.027	○	○	○

備考)

※1.用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

表 4.1-11 浮遊粒子状物質の経年変化（日平均値の2%除外値）

単位：mg/m³

区分	測定局名	年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	新舞子保育園	0.047	0.031	0.026	0.028	0.028
	阿久比中学校	0.045	0.035	0.03	0.03	0.03
	横須賀小学校	0.037	0.039	0.031	0.032	0.036
	大府小学校	0.038	0.034	0.028	0.026	0.029
	東浦町役場	0.040	0.037	0.029	0.03	0.034
	高浜小学校	0.039	0.038	0.028	0.03	0.034
	刈谷市寿町	0.037	0.033	0.025	0.025	0.03
	知立市役所	0.036	0.03	0.023	0.024	0.027
	安城農林高校	0.038	0.032	0.025	0.026	0.027

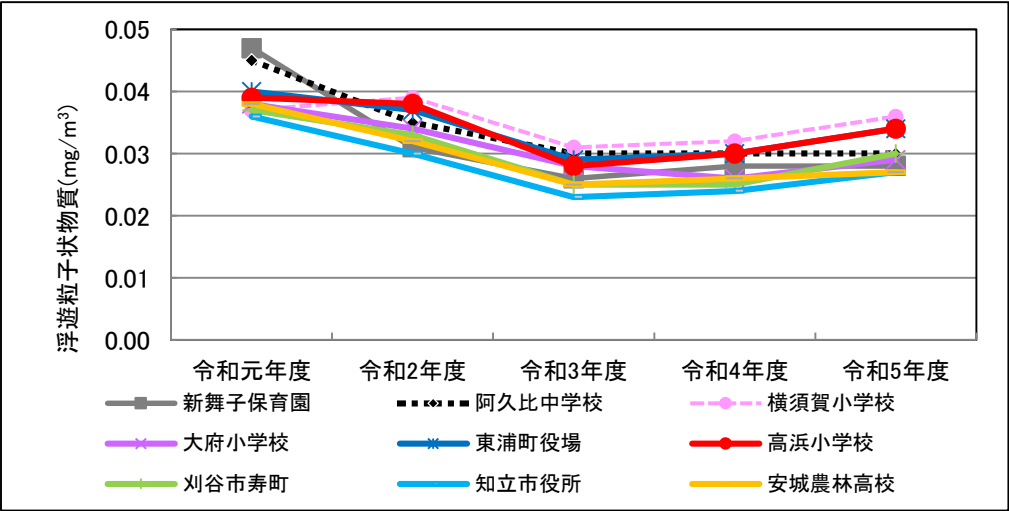
出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

「2021年度大気汚染調査結果」(令和4年6月、愛知県)

「2020年度大気汚染調査結果」(令和3年6月、愛知県)

「2019年度大気汚染調査結果」(令和2年6月、愛知県)



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-7 浮遊粒子状物質の経年変化（日平均値の 2%除外値）

《参考：大気汚染に係る環境基準について（浮遊粒子状物質）》

環境基準	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。
評価方法	長期的評価 年間に於ける 1 日平均値について、高い方から 2% の範囲内にあるものを除外した 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であること。ただし、1 日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続しないこと。
	短期的評価 1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

出典：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 5 月 8 日 環境庁告示第 25 号）
「大気汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 6 月 12 日 環境庁通知第 143 号）

(e) 微小粒子状物質

微小粒子状物質は一般局である横須賀小学校等の5局において測定されている。

令和5年度の測定結果は表4.1-12に示すとおり、環境基準に適合している。

微小粒子状物質の年平均値の経年変化は表4.1-13、図4.1-8に示すとおり、過去5年（令和元年度～令和5年度）は減少傾向である。

表 4.1-12 微小粒子状物質の測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	有効測定 日数	年平均値	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数と その割合		日平均値の 98%値	環境基準の適否	
								短期 基準	長期 基準
			(日)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(適○・否×)	
一般局	横須賀小学校	住	363	8.3	0	0.0	19.3	○	○
	大府小学校	住	363	7.7	0	0.0	20.0	○	○
	高浜小学校	工	363	7.0	0	0.0	17.5	○	○
	刈谷市寿町	商	363	6.6	0	0.0	16.6	○	○
	安城農林高校	未	363	8.2	0	0.0	19.8	○	○

備考)

※1.用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

表 4.1-13 微小粒子状物質の経年変化（年平均値）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

区分	測定局名	年 度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	横須賀小学校	11.6	9.7	9.1	8.8	8.3
	大府小学校	9.0	8.2	7.8	8.2	7.7
	高浜小学校	9.5	8.1	6.8	7.1	7.0
	刈谷市寿町	8.6	7.6	6.5	6.8	6.6
	安城農林高校	12.4	11.9	7.8	8.5	8.2

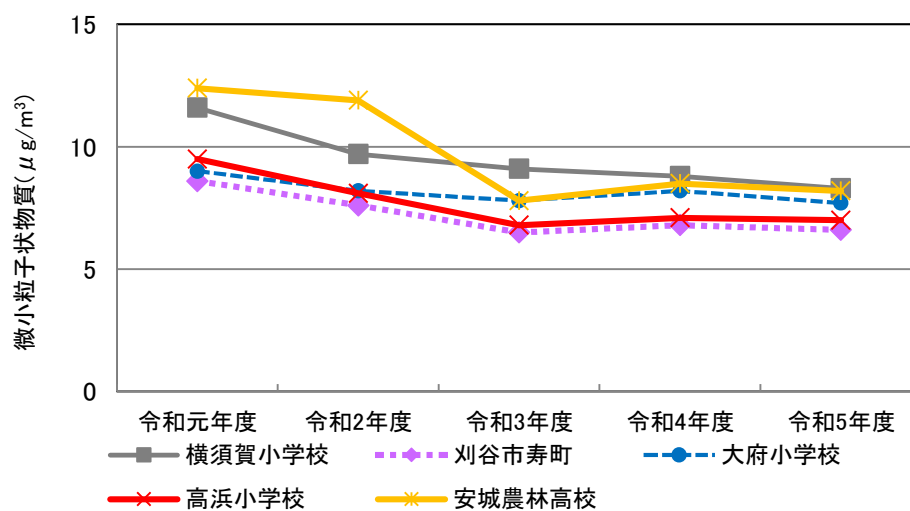
出典：「2023年度大気汚染調査結果」（令和6年6月、愛知県）

「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-8 微小粒子状物質の経年変化（年平均値）

《参考：大気汚染に係る環境基準について（微小粒子状物質）》

環境基準	1 年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。	
評価方法	長期基準	1 年平均値を環境基準と比較して評価する。
	短期基準	年間の 1 日平均値のうち、低い方から 98% に相当するもの(98%値)を環境基準と比較して評価する。

出典：「微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について」（平成 21 年 9 月 9 日 環境庁告示第 33 号）

(f) 非メタン炭化水素

非メタン炭化水素は一般局である新舞子保育園、大府小学校及び安城農林高校の3局において測定されている。令和5年度の測定結果を表4.1-14に示す。

非メタン炭化水素には環境基準が設定されていないが、光化学オキシダントの生成防止のための指針として「6～9時の3時間平均値が0.20～0.31ppmCの範囲にあること」が示されている。令和5年度は、全ての測定局で0.20ppmC未満の日及び0.31ppmCを超えた日があった。

非メタン炭化水素の年平均値の経年変化は表4.1-15、図4.1-9に示すとおりであり、過去5年（令和元年度～令和5年度）において、概ね横ばいで推移している。

表 4.1-14 非メタン炭化水素の測定結果（令和5年度）

区分	測定局	用途地域 ※1	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時の3時間平均値		6～9時の3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合		指針の適否 (適○・否×)
			(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	最高値	最低値	(日)	(%)	(日)	(%)	
							(ppmC)	(ppmC)					
一般局	新舞子保育園	未	8,601	0.09	0.13	366	1.14	0.01	70	19.1	22	6.0	×
	大府小学校	住	8,588	0.13	0.15	366	0.51	0.01	98	26.8	26	7.1	×
	安城農林高校	未	6,041	0.12	0.14	257	0.37	0.01	50	19.5	3	1.2	×

備考)

※1.用途地域 住：住居系 商：商業系 工：工業系 未：未設定

出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

表 4.1-15 非メタン炭化水素の経年変化（6～9時における年最高値・年最低値）

単位：ppmC

区分	測定局名	項目	年 度				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般局	新舞子保育園	年最高値	0.48	0.76	0.85	0.54	1.14
		年最低値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
	大府小学校	年最高値	0.81	0.72	0.58	0.61	0.51
		年最低値	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01
	安城農林高校	年最高値	0.82	0.60	0.56	0.71	0.37
		年最低値	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01

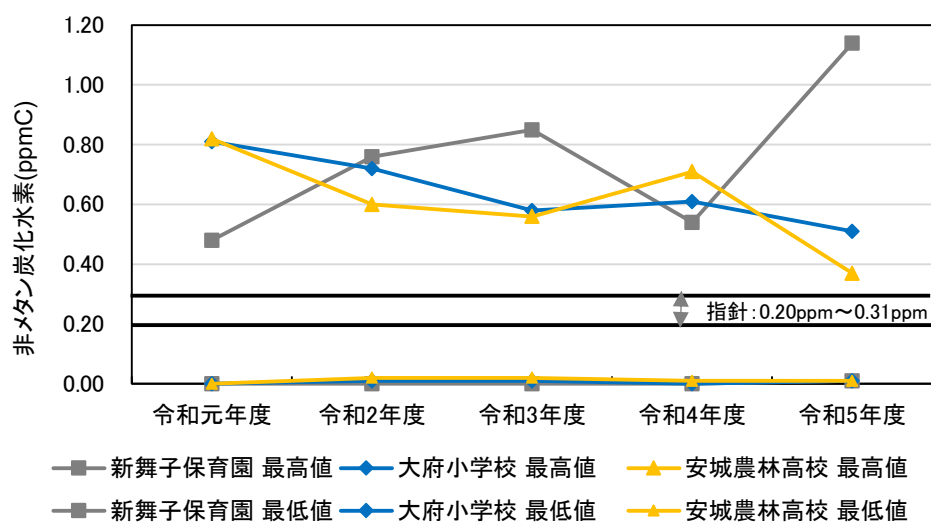
出典：「2023年度大気汚染調査結果」(令和6年6月、愛知県)

「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

「2021年度大気汚染調査結果」(令和4年6月、愛知県)

「2020年度大気汚染調査結果」(令和3年6月、愛知県)

「2019年度大気汚染調査結果」(令和2年6月、愛知県)



出典：「2023 年度大気汚染調査結果」（令和 6 年 6 月、愛知県）
 「2022 年度大気汚染調査結果」（令和 5 年 6 月、愛知県）
 「2021 年度大気汚染調査結果」（令和 4 年 6 月、愛知県）
 「2020 年度大気汚染調査結果」（令和 3 年 6 月、愛知県）
 「2019 年度大気汚染調査結果」（令和 2 年 6 月、愛知県）

図 4.1-9 非メタン炭化水素の経年変化（6～9 時における年最高値・年最低値）

《参考：光化学オキシダントの生成防止のための指針（非メタン炭化水素）》

指針	光化学オキシダントの日最高 1 時間値 0.06ppm に対応する午前 6 時から 9 時までの非メタン炭化水素の 3 時間平均値は、0.20ppmC から 0.31ppmC の範囲にある。
----	---

出典：「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について（答申）」
 （昭和 51 年 8 月 13 日 中央公害対策審議会）

2) 有害大気汚染物質の状況

愛知県では、「大気汚染防止法（昭和 43 年 6 月 10 日法律第 97 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号）」に基づき、有害大気汚染物質のモニタリング調査が実施されている。令和 5 年度は県内 21 箇所において、環境省が指定等を行った優先取組物質 22 物質のうち、環境省の「有害大気汚染物質モニタリング指針」に基づき、「有害大気汚染物質等測定方法マニュアル」で分析方法が示されている 20 物質と、水銀及びその化合物の 1 物質、計 21 種を対象とした。

調査区域では、測定局は存在しない。

《参考：有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準》

物質	環境基準
ベンゼン	1 年平均値が 0.003 mg/m ³ 以下であること。
トリクロロエチレン	1 年平均値が 0.13 mg/m ³ 以下であること。
テトラクロロエチレン	1 年平均値が 0.2 mg/m ³ 以下であること。
ジクロロメタン	1 年平均値が 0.15 mg/m ³ 以下であること。

出典：「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」（平成 9 年 2 月 4 日環境庁告示第 4 号、最終改正：平成 30 年 11 月 19 日環境庁告示第 100 号）

《参考：有害大気汚染物質（アクリロニトリル等）に係る指針値》

物質	指針値
アクリロニトリル	1 年平均値が 2 μg/m ³ 以下であること。
塩化ビニルモノマー	1 年平均値が 10 μg/m ³ 以下であること。
塩化メチル	1 年平均値が 94 μg/m ³ 以下であること。
クロロホルム	1 年平均値が 18 μg/m ³ 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	1 年平均値が 1.6 μg/m ³ 以下であること。
1,3-ブタジエン	1 年平均値が 2.5 μg/m ³ 以下であること。
アセトアルデヒド	1 年平均値が 120 μg/m ³ 以下であること。
ニッケル化合物	1 年平均値が 25 ng Ni/m ³ 以下であること。
ヒ素及びその化合物	1 年平均値が 6 ng As/m ³ 以下であること。
マンガン及びその化合物	1 年平均値が 140 ng Mn/m ³ 以下であること。
水銀及びその化合物	1 年平均値が 40 ng Hg/m ³ 以下であること。

出典：「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第七次答申）」（平成 15 年 7 月 31 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第八次答申）」（平成 18 年 11 月 8 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第九次答申）」（平成 22 年 10 月 18 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第十次答申）」（平成 26 年 5 月 1 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第十二次答申）」（令和 2 年 8 月 20 日 中央環境審議会）

3) ダイオキシン類の状況

愛知県では、「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づき、環境中のダイオキシン類の測定が実施されている。

調査区域では知多市新田小学校、阿久比町役場、東海市消防本部、大府市役所、東浦町役場、刈谷市寿町、安城農林高校の 7 地点で調査が行われている。調査定点位置を図 4.1-10 に示す。

令和 5 年度に実施されたダイオキシン類の大気測定結果は表 4.1-16 に示すとおりであり、全地点において環境基準に適合している。

表 4.1-16 ダイオキシン類大気環境調査結果（令和 5 年度）

調査地点	設置場所	調査結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準の適否 (適○・否×)
		春季	夏季	秋季	冬季	平均値	
知多市新田小学校	知多市八幡字鍋山 65	－	0.011	－	0.045	0.028	○
阿久比町役場	阿久比町大字卯坂字 殿越 50	0.0065	0.0083	0.0067	0.045	0.017	○
東海市消防本部	東海市高横須賀町 新田 1-1	－	0.0043	－	0.060	0.032	○
大府市役所	大府市中央町五丁目 70	－	0.0098	－	0.064	0.037	○
東浦町役場	東浦町大字緒川字 政所 20	－	0.0095	－	0.061	0.035	○
刈谷市寿町	刈谷市寿町一丁目 409	0.0064	0.012	0.012	0.046	0.019	○
安城農林高校	安城市池浦町茶筌 木 1	0.015	0.0087	0.0081	0.042	0.018	○

注) 各季の調査時期は以下のとおりである。

春季：令和 5 年 5 月 9 日～5 月 16 日、

夏季：令和 5 年 7 月 14 日～7 月 21 日

秋季：令和 5 年 10 月 5 日～10 月 12 日（阿久比町役場）、

令和 5 年 10 月 13 日～10 月 20 日（刈谷市寿町・安城農林高校）

冬季：令和 6 年 1 月 12 日～1 月 19 日

出典：「2023 年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県 HP、令和 7 年 5 月閲覧）

《参考：ダイオキシン類に係る環境基準について（大気質）》

媒体	環境基準
大気質	1 年平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。

出典：「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成 11 年 12 月 27 日環境省告示第 68 号、最終改正：令和 4 年 11 月 25 日号外環境省告示第 89 号）